



「秋のせせらぎ」早川 裕子氏 作

# 2016 ASK BANK REPORT

## 旭川信用金庫の現況

半期開示【平成28年4月1日→平成28年9月30日】

# ごあいさつ



日頃より旭川信用金庫に格別のお引き立てを賜わり、厚くお礼申し上げます。

当金庫をより一層ご理解いただけるよう、平成28年度上半期ディスクロージャー誌を作成いたしましたので、ご高覧いただければ幸いに存じます。

今後も、地域のお客さまに強く支持される金融機関をめざしてまいりますので、変わらぬご愛顧を賜わりますようお願い申し上げます。

平成28年11月

理事長 原田直彦

## 旭川信用金庫の概要



本店所在地	北海道旭川市4条通8丁目
創立	大正3(1914)年4月11日
出資金	24億95百万円
会員数	5万8,065人
預金残高	8,124億円
貸出金残高	3,056億円
店舗数	41店舗(旭川市内26、旭川市近郊5、 富良野市・近郊5、札幌市内5)
常勤役員数	381人(うち、常勤役員9人)

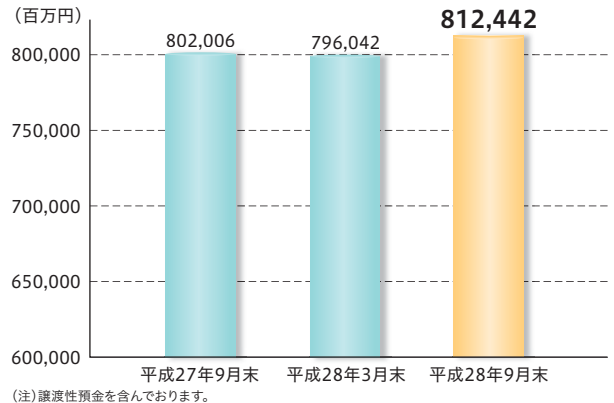
(平成28年9月末現在)

## 上半期の業績

### 預金の状況

残高 **8,124** 億円

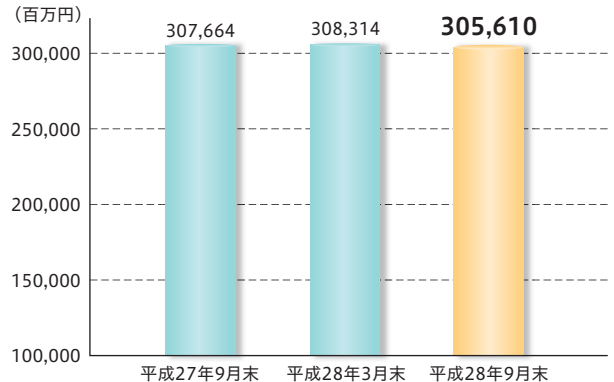
個人預金が減少しましたが、法人預金、金融機関および公金預金が増加し、前年度末比163億円増加しました。



### 貸出金の状況

残高 **3,056** 億円

卸売業、小売業および国・地方公共団体等は増加しましたが、製造業や金融業、保険業、個人等が減少し、前年度末比27億円減少しました。



### ●貸出金業種別内訳

(単位:百万円)

	平成28年3月末			平成28年9月末		
	先数	残高	構成比	先数	残高	構成比
製造業	354	10,078	3.2%	355	9,357	3.0%
農業、林業	74	1,273	0.4%	80	1,462	0.4%
漁業	—	—	—	—	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	7	354	0.1%	6	337	0.1%
建設業	1,086	20,273	6.5%	1,116	19,198	6.2%
電気・ガス・熱供給・水道業	3	101	0.0%	3	89	0.0%
情報通信業	55	1,047	0.3%	55	1,055	0.3%
運輸業、郵便業	126	4,826	1.5%	125	4,933	1.6%
卸売業、小売業	947	18,046	5.8%	951	18,562	6.0%
金融業、保険業	40	11,864	3.8%	40	11,411	3.7%
不動産業	1,356	63,821	20.7%	1,355	63,651	20.8%
物品賃貸業	27	1,778	0.5%	27	1,823	0.5%
学術研究、専門・技術サービス業	149	2,228	0.7%	159	2,330	0.7%
宿泊業	44	1,877	0.6%	43	1,688	0.5%
飲食業	298	1,936	0.6%	307	1,941	0.6%
生活関連サービス業、娯楽業	180	4,113	1.3%	187	3,842	1.2%
教育、学習支援業	27	295	0.0%	27	289	0.0%
医療、福祉	325	13,916	4.5%	330	14,131	4.6%
その他サービス	409	9,627	3.1%	405	9,079	2.9%
小計	5,507	167,463	54.3%	5,571	165,186	54.0%
国・地方公共団体等	11	30,291	9.8%	10	30,582	10.0%
個人	29,612	110,558	35.8%	29,379	109,841	35.9%
合計	35,130	308,314	100.0%	34,960	305,610	100.0%

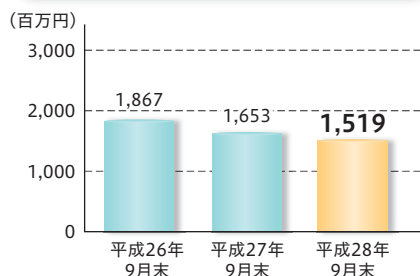
(注) 業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

# 上半期の業績

## 収益の状況

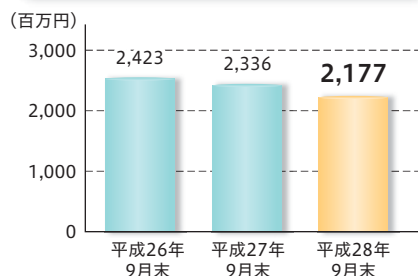
### 業務純益

15億19百万円



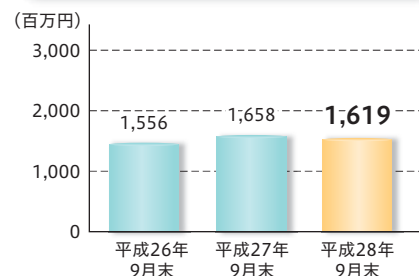
### 経常利益

21億77百万円



### 当期純利益

16億19百万円



引き続き安定した収益をあげています。

## 有価証券の状況

格付けの高い公社債等を中心に、各種リスクに配慮した安全な運用に努めています。

### ●満期保有目的の債券

(単位:百万円)

	種類	平成28年3月末			平成28年9月末		
		貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国債	58,534	61,670	3,136	58,532	61,516	2,983
	地方債	—	—	—	—	—	—
	社債	5,062	5,249	186	4,718	4,880	162
	その他	1,000	1,060	59	1,000	1,043	42
	小計	64,597	67,980	3,383	64,252	67,440	3,188
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国債	—	—	—	—	—	—
	地方債	—	—	—	—	—	—
	社債	—	—	—	—	—	—
	その他	1,500	1,497	△2	1,500	1,495	△4
	小計	1,500	1,497	△2	1,500	1,495	△4
合計		66,097	69,477	3,380	65,752	68,935	3,183

(注1)時価は、期末日における市場価格等に基づいております。(注2)上記の「その他」は、外国証券です。(注3)時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

### ●その他有価証券

(単位:百万円)

	種類	平成28年3月末			平成28年9月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	1,723	1,149	573	1,501	964	537
	債券	206,356	198,870	7,485	191,158	183,838	7,319
	国債	98,000	93,686	4,314	87,712	83,560	4,151
	地方債	62,405	59,484	2,921	62,411	59,485	2,925
	社債	45,949	45,699	249	41,034	40,791	242
	その他	27,612	26,852	759	34,014	33,163	850
	小計	235,691	226,873	8,818	226,674	217,965	8,708
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	252	280	△28	361	402	△41
	債券	9,150	9,160	△10	6,103	6,106	△2
	国債	—	—	—	—	—	—
	地方債	1,497	1,499	△2	—	—	—
	社債	7,652	7,661	△8	6,103	6,106	△2
	その他	22,854	23,311	△457	21,901	23,262	△1,361
小計	32,256	32,753	△496	28,367	29,771	△1,404	
合計		267,948	259,626	8,322	255,041	247,737	7,303

(注1)貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。(注2)上記の「その他」は、外国証券および投資信託等です。(注3)時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

### ●時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券

(単位:百万円)

	平成28年3月末	平成28年9月末
	貸借対照表計上額	貸借対照表計上額
子会社株式	10	10
非上場株式	301	300
合計	311	310



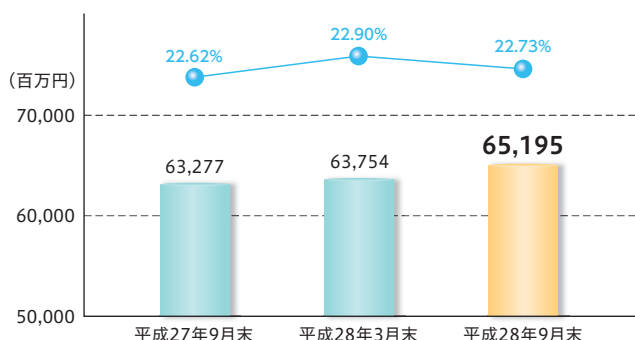
## 自己資本の状況

### 自己資本比率

**22.73%**

### 自己資本の額

**651億円**



前年度末比で、自己資本比率は0.17ポイント減少しましたが、自己資本の額は14億41百万円増加しました。国内基準4%を上回り、健全な経営水準を維持しています。

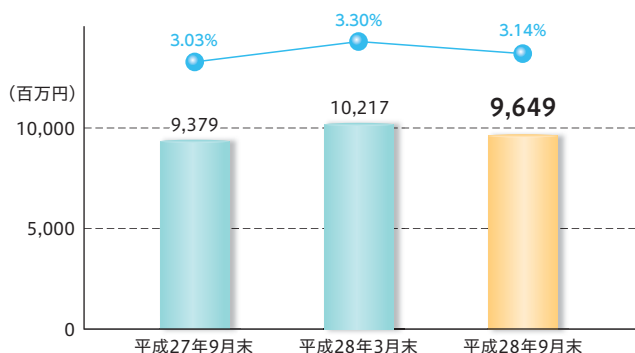
## 金融再生法開示債権の状況

### 不良債権比率

**3.14%**

### 不良債権残高

**96億円**



不良債権は残高・比率ともに減少しました。お客さまへの経営改善支援等に積極的に取り組み、貸出資産の健全化に努めております。

### ●金融再生法に基づく開示債権額

(単位:百万円)

	平成28年3月末	平成28年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,792	4,491
危険債権	3,960	3,709
要管理債権	1,465	1,449
正常債権	298,911	296,997
合計	309,129	306,646

(注1)「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申し立て等により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権です。

(注2)「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態に至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受け取りができない可能性の高い債権です。

(注3)「要管理債権」とは、「3ヵ月以上延滞債権」および「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金をいいます。

(注4)「正常債権」とは、債務者の財政状態および経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権をいいます。

### ●金融再生法開示債権保全状況

(単位:百万円)

		平成28年3月末	平成28年9月末
金融再生法上の不良債権	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,792	4,491
	危険債権	3,960	3,709
	要管理債権	1,465	1,449
	合計(A)	10,217	9,649
保全額	貸倒引当金(C)	4,931	4,545
	担保・保証等(D)	4,196	3,729
	合計(B)	9,127	8,274
保全率(B)/(A)		89.3%	85.7%
担保・保証等控除後債権に対する引当率(C)/((A)-(D))		81.9%	76.7%

(注)貸倒引当金は、個別貸倒引当金および要管理債権に対して計上している一般貸倒引当金の合計額です。

今回公表させていただいた計数は、9月末時点において3月期末決算と同様の決算処理を行い算出しておりますが、信用金庫における法定の決算および開示は3月期末のみであることから、未監査の計数であることをご了承ください。

※記載計数はすべて単位未満を切り捨てて表示しております。このため、表の小計・合計・増減等は内訳の計算と合致しない場合があります。

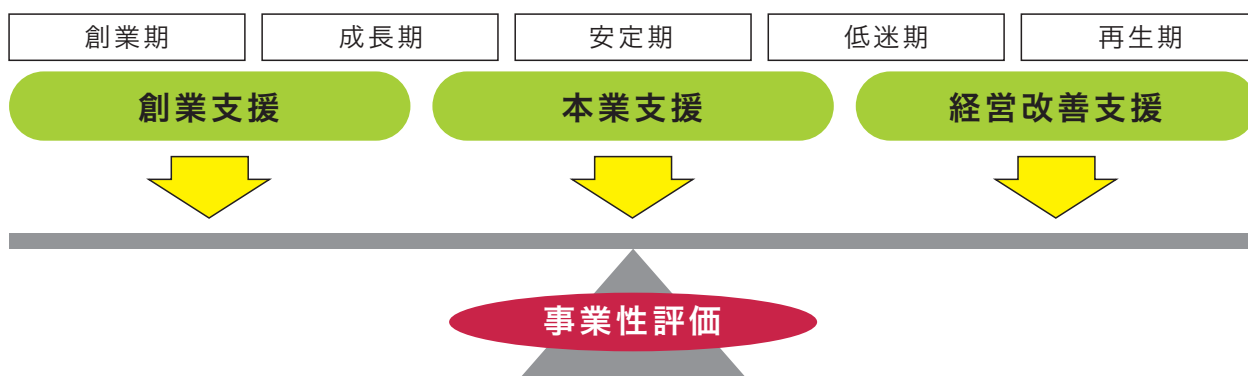
## 地域活性化への取り組み

当金庫は、**事業性評価**に基づいた創業支援、本業支援および経営改善支援を行い、お取引先の経営力強化を通じて**地域活性化**を推進していきます。

### 事業性評価と地域活性化

#### ■ 事業性評価の取り組みとは

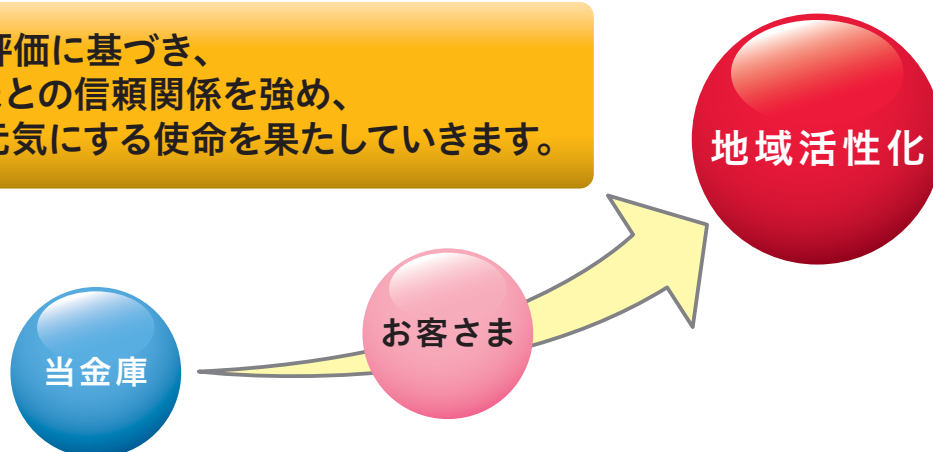
お取引先を取り巻く市場規模や成長性、競争環境を踏まえた目利き力によって、事業特性や強み・弱みを適切に評価し、ライフステージに応じた最適なソリューションを提案します。



#### ■ 事業性評価のポイント

実態把握	職員の「目利き能力」を高め、お取引先を良く知り、経営者とのリレーションを構築し、財務情報や内部環境、その業界を取り巻く外部環境や競争環境等、様々な情報を収集し、経営課題やニーズを把握します。
課題分析	実態把握によって得た情報を基に、競争環境や外部要因の分析、経営課題やビジネスプロセス等、内部環境の分析を実施するとともに、経営課題等に関する有効な支援策を検討します。
本部と営業店との連携	お取引先の強み・課題分析の結果や将来性を把握し、本部と営業店で情報を共有、必要とされる融資実行や経営課題・ニーズに合致した本業支援を実施します。
ソリューションの提供	創業・新事業展開支援、受注・販路拡大、海外進出支援、経営改善・事業再生支援、事業承継支援等、中小企業の事業の成長・持続可能性、経営課題やニーズ等、適切且つ慎重に見極めたうえで、それぞれのステージに応じたソリューションを取り揃え実行するとともに、支援後のフォローアップを実施します。

事業性評価に基づき、  
お客さまとの信頼関係を強め、  
地元を元気にする使命を果たしていきます。



## 活力ある職場づくり

### 各種研修・勉強会

当金庫では、研修・勉強会に力を入れています。研修・講座・勉強会等のスケジュールと推奨講座等を記載した「能力開発ガイドブック」を作成し、業務知識の充実をめざしています。

つねにお客さまの立場に立って考え、その期待に十分応えることができる職員の育成に努めています。

#### 職員育成プログラム

新入職員研修

内部研修

トレーニー研修

土曜講座・夜間勉強会

外部研修

海外研修

自己啓発

### 役員と職員の対話

役員と職員との一層のコミュニケーションを図る目的でオフサイトミーティングを行っています。

役員の考え方に直接触れ、職員が金庫の方針や理念について理解を深める機会になっています。



### 女性活躍の推進

出産を希望する女性職員が安心して出産・子育てを経て職場復帰ができるよう、産前産後休暇および育児休業の制度を設け、女性が長く働ける職場環境の整備を進めています。

職場での理解が進み、制度の利用者が増加しています。



### クラブ活動

当金庫では、野球部・サッカー部・テニス部・バスケットボール部・山岳部・スキー部・バドミントン部の7つのクラブがあります。

クラブ活動を通して、職員同士の絆を深め、職場の活性化を図っています。





明日をひらく  
ASK BANK